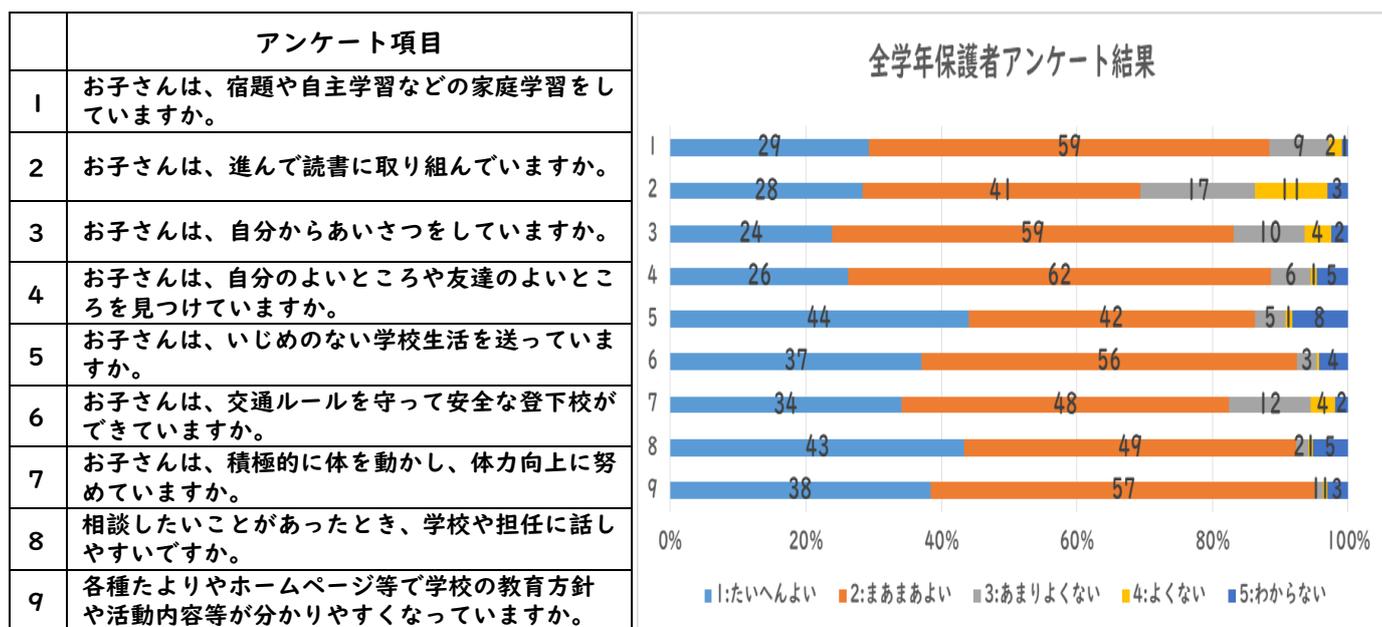


保護者アンケート結果



・ A評価（たいへんよい）とB評価（まあまあよい）の割合が80%を超えたものは、9項目中8項目でした。さらに90%を超えたものは3項目ありました。

- ・ 安全な登下校については、保護者や地域の皆様の見守りやご指導により、児童は交通ルールを意識して登下校しており、協働して取り組んでくださっていることに深く感謝いたします。教職員も登下校時の巡回指導や個別の課題に対して指導を順次行っています。
- ・ 今年度は、2回の教育相談を実施するとともに、必要に応じて児童とコミュニケーションをとって、児童の相談に応じています。今後も、全教職員で相談体制の充実や改善に取り組んでいきます。
- ・ 今年度も、2回の授業参観を実施し、各種たよりやホームページで子どもたちの様子をお伝えしてきました。家庭で子どもと学校の様子を話し合い、非常に高い意識で、学校が力を入れていることに対して協働して取り組んでくださっていることに深く感謝しております。
- ・ A評価「たいへんよい」の割合が高めだったもの

質 問 項 目	Aの割合	A+Bの割合
⑤お子さんは、いじめのない学校生活を送っていますか。	44%	86%
⑧相談したいことがあったとき、学校や担任に話しやすいですか。	43%	92%

・ A評価「たいへんよい」の割合が低めだったもの

質 問 項 目	Aの割合	A+Bの割合
①お子さんは、宿題や自主学習などの家庭学習をしていますか。	29%	88%
②お子さんは、進んで読書に取り組んでいますか。	28%	69%
③お子さんは、自分からあいさつをしていますか。	24%	83%
④お子さんは、自分のよいところや友達のよいところを見つけていますか。	26%	88%

- ・ 「宿題や自主学習などの家庭学習」では、自ら進んで学習することに課題が見られます。言われないと取り組み始めない様子や自主学習の内容を自分で決めて取り組むことを苦手とする様子も見られるようです。学校でも家庭学習の取り組み方について指導し、自主学習の進め方についても、学年の発達段階に応じて、具体的に指導助言をしていきたいと思えます。
- ・ 「進んで読書に取り組んでいる」では、保護者アンケートの回答では、文字や文章を読むことを苦手としていることから、読書に興味を持たない様子が見られます。また、ゲームや動画視聴、習い事等により、読書に取り組む時間がないとの意見も見られました。読書の習慣化についても課題が見られます。国語科等の授業において、「読む」ことの苦手意識をなくすとともに、校内でも「隙間読書」を推進し、短い時間でも読書の習慣化を図っていききたいと思えます。
- ・ 「自分からあいさつしている」では、自分からあいさつをすることがなかなかできないことや、交通指導員さんや旗当番の保護者の方々、地域の方々へのあいさつが不十分であることが大きな課題と言えます。児童は、校外では特に「恥ずかしい」という意識が強いようですので、校内でも「自分から」挨拶ができるように励ましていきます。さらに、周りの大人（保護者やご家族の方、地域の皆様、教員等）も子どもた

ちの手本として挨拶をして、あいさつの習慣化を図っていきたいと思います。

- ・「自分のよいところや友達のよいところを見つけている」では、良いところよりも悪いところに目が向いている様子や自分に自信がなく自己肯定感が低い様子も見られます。「氏小かがやきっずプロジェクト」を推進し、児童が互いのよさを見つけ伝えることを通して、自分自身のよさに気づくことができるよう取り組んでいきたいと思います。一方、「氏小かがやきっずプロジェクト」の取組が分かりにくいという保護者の方からのご意見もあるため、これまでの取組の実践から成果と課題をまとめて次年度に生かすとともに、保護者や地域の方々への周知にも努めていきたいと思います。

【学校運営協議会委員アンケート記述内容より】（一部紹介します）

- ・子どもたちの良き成長は、先生方の努力のたまものです。十数年後に社会を作り出す子どもたちの基礎は、ここで育まれます。今後ともよろしくをお願いします。
- ・教職員の皆さんが協力しあったり、風通しの良い笑い合える明るい関係であることが、児童の皆さんにとって素晴らしい環境であると思っております。引き続き、よろしくお願ひいたします。
- ・今の子どもたちは、自分の考えや気持ちを言葉にするのが苦手かと思ひます。特に日本語は多様な表現があるので、「よりの確に分かりやすい言い方ってなんだろう」と考えるだけでも、言葉が豊かになると思ひます。そういう意識付けができるのは、やはり学校という環境、そして身近にいる先生方です。言葉のもつ力（よい面だけでなく）について、是非ご指導ください。
- ・先生方が指導力向上のための研修を率先して行い、日々の学習指導や児童指導に生かそうと努力している姿勢に頭が下がります。ありがとうございます。
- ・登下校については、児童の意識だけでなく、保護者や地域の方々のご理解が大いに大切だと思ひます。様々な方法で啓蒙する必要があると思ひます。
- ・SNSの使い方については、より取組を強化してもよいのではないかと。

【保護者の皆様からの記述より ～意見・要望等について～】

- ・今年度も記述欄に、教員の励みになる温かで、肯定的な記述をたくさん寄せていただきました。本当にありがとうございました。記述欄の意見や要望等につきましては大切に受け止め、今後検討を重ねてまいります。ここでは、現時点でお答えできる点について述べさせていただきます。

○SNSの指導について

〔回答〕 SNS等の利用については、5年生で児童と保護者対象に「ネット時代の歩き方講習会」を実施しています。また、各学年において、タブレットやインターネットの利用について、学年の発達段階に応じて指導しているところです。しかし、全国的にSNS等の利用についての課題が見られることから、これまでの指導を継続するとともに、自他を尊重して利用することについて、授業の中でも適時指導していきたいと思ひます。

○学校生活のきまりについて

〔回答〕 氏家小学校では、氏小ナビに服装や持ち物等、学校生活についての記載がされており、児童に指導する際は、それらをもとに教員が口頭で指導しています。児童に分かりやすいよう児童向けの「氏家小学校生活のきまり」を作成し、それをもとに指導したいと考えています。保護者の皆様にも学校生活についてアンケートにご協力いただき、検討したいと考えています。

○タブレットの持ち帰りについて

〔回答〕 タブレットの使用では、保護者の皆様にご協力いただきありがとうございます。学年の発達段階に応じて家庭学習でも使用しているところです。これまでの実践をもとに今後も改善しながら使用を進めていきたいと思ひます。持ち帰りの際に荷物が重くなり児童の負担になるという様子も見られるため、持ち帰りについては児童の負担を考慮して、各学年で検討していきたいと思ひます。

【おわりに】

令和6年度の学校評価実施にあたり、保護者アンケートにご協力をいただきありがとうございました。また、学校運営協議会委員の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様へ感謝申し上げます。今年度も、この学校評価により明らかになった氏家小学校のよさや改善すべきところを次年度の「努力点・具体策」策定や手立ての設定に生かし、よりよい学校を目指して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。